

特定非営利活動法人 被害者支援ネットワーク佐賀VOISS会報

ボイス



Vol.13-1

No.39

2012. 8. 1

VOISS・ボイスとは、Voice of Isolated Survivor, Support の頭文字を取ったものです。孤立した被害者（自己の尊厳を回復しようとしているサバイバー）の声を尊重していきたいとする、会の原点を表した愛称です。

ハラスメントの表と裏

佐賀大学保健管理センター所長 佐藤 武

ハラスメントという言葉が広まるにつれて、大学内では教員と生徒の間に何か隙間が感じられるようになってきた。確かに、ハラスメントは被害者にとっては辛い体験であるが、ハラスメントを行っている側は、その行為に気づかずに、相手を傷つけている。この言葉が流行することによって、以前のような相手の気持ちを考えずに、ずばずば言いたい放題の人間関係の時代から慎重に言葉を選んで会話する時代へと変遷しているのではないかと思われる。具体的には、冗談も通じなくなり、冗談も言えない時代へ？

たとえば、期限を決めて提出するように学生へ説明した教員がその通りにできなかった学生に「なぜ、君は約束を守れないのか！」と学生をばかにしたような口ぶりで責めた教員がいたとしよう。勿論、言い方の問題もあるだろうが、それをまともに受けた学生はひどくショックを受け、うつ状態に陥ったとしよう。その場合、約束を守れなかった学生が悪いのか、教員の指摘の仕方が悪かったのか、微妙に判断に迷う。但し、自転車と自動車がぶつかった場合、一般的に自動車が悪い結果になるので、大学内でもこのような衝突は、教員側が悪いことになるだろう。そこには弱い立場と強い立場の違いがある。

そうです。「違い」が重要な考え方であろう。教員として心得ておかなければならないのは、人には違いがあること（difference）。なんでも、すばやく適切に物事を処理できる学生もいれば、期限が定められていても、なかなか進まない学生もいる。その差を知っていれば、もっとやさしい言葉で接することができたかもしれない。

完璧を求める社会構造はますます度を超えてきている。社会全体の病でもあるのだ。昔だったら、許されてきたことでも、現代社会はそうではない。誰もが完璧を求める社会になってきているので、うまく生きていくには油断もできない。そういう社会背景から、ハラスメントは今後も、さらに増えていくだろう。しかし、そのストップ役を演じるのは、差異性（difference）の考え方であるだろう。

第 11 回通常総会報告

下記のとおり総会を開催しました。

- 日 時 平成24年5月25日
- 場 所 佐賀市天神3丁目2-11 アバンセ4F第1研修室
- 時 間 19時00分～20時00分
- 総会員数 112人
- 総会出席会員数 97人（内訳 本人出席 30人 委任状出席 67人）

定刻になり副理事長 田口より開会を宣言し、定款所定数を満たし有効に成立した旨を告げました。

佐賀県警本部 柳田健一警務部長、佐賀県くらし環境部くらしの安全安心課 蒲原晃嗣課長をはじめ来賓の方にも多数参加していただき、無事に開催できましたことを、この場をかりてお礼申し上げます。

議長に笠原保子氏が選任され、また議事録署名人に宮元篤紀氏、岩田麻美氏に満場異議なく指名され審議に入りました。

第1号議案「2011年度事業報告及び収支決算、貸借対照表及び財産目録について」

監事の三池氏より監査報告があり、賛成多数により可決承認されました。

第2号議案「定款の一部変更について」

事務局長 島崎より説明を行い議長は本案について会員に諮ったところ満場一致をもって承認されました。

第3号議案「役員の変更について」

全員任期満了につき改選方を議場に諮ったところ満場異議なく理事に選任され、被選任者はいずれもその就任を承諾していただきました。

理事の承認に続き理事長及び副理事長の選出は、定款により理事互選のため、暫時休憩を入れ、理事会が開催されました。

理事互選の結果、理事長 藤林武史、副理事長 谷川弘幸、副理事長 田口香津子に決定した旨を、理事長が報告いたしました。

第4号議案「2012年度事業計画（案）及び活動予算（案）」

事務局長 島崎より説明を行い、賛成多数により承認されました。

以上をもって通常総会の審議を終了したので議長は終了の旨告げ、午後8時散会しました。

その後、会場をかえ来賓、会員28人の交流会を行い、2時間程の歓談の中で、力強いメッセージやご支援ご協力のお言葉をいただき、あらためて公安委員会からの「早期援助団体」指定を目指し、よりいっそうの相談支援体制や事務局体制の充実に取り組んでまいる所存です。これまで以上にみなさまのご支援を賜りたいと思っております。どうぞ今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

2011年度 事業報告

□犯罪被害者の相談活動

- ・電話・電子メール相談による支援
- ・面接相談（カウンセリング）による支援
- ・全国共通DVホットラインの相談支援
- ・直接支援（付き添い支援）

□広報、啓発活動

- ・ホームページ更新
- ・会報発行（年3回）
- ・講演会等への講師派遣
- ・犯罪被害者フォーラム
- ・出前講座（6か所）
- ・命の大切さを学ぶ教室（10校）
- ・ポスター、リーフレット、ポケットティッシュ作成配布
- ・ちらし配り（ゆめタウン、バルーン会場）
- ・佐賀市営バス（ラッピング）・県公用車・昭和バス及び祐徳バスによる広告掲載

□研究に関する活動

- ・相談事例等検討会開催
- ・全国被害者支援フォーラム、研修会参加
- ・九州ブロック会議参加
- ・佐賀市育児支援家庭訪問事業検討会参加
- ・犯罪被害者等施策研修会（内閣府）参加

□自助グループ支援に関する活動

- ・会合等への参加、支援
- ・同行支援
- ・関係機関との連絡調整

□その他の活動

- ・被害者支援サポーター養成講座（12回）
- ・佐賀市児童虐待防止専門化講座開催（4回）
- ・佐賀市育児支援家庭訪問事業実施（随時）
- ・要保護児童対策地域協議会参加
- ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
- ・支援自販機設置活動（26機）
- ・募金箱設置（31か所）

平成23年度 被害者支援相談件数報告

活動内容		殺人	傷害	性犯罪	DV	児童虐待	その他	計
活 相 動 談	電話相談	90	30	30	82	16	204	452
	電子メール相談	26	1	26	17	0	8	78
	面接相談	11	1	9	7	1	3	32
小計		127	32	65	106	17	215	562
直 接 支 援	裁判傍聴付添い	3	0	2	1	0	0	6
	他機関付添い	3	0	2	4	0	0	9
	病院付添い	0	0	0	0	0	0	0
	自助グループ支援	7	0	0	0	0	0	7
	その他	5	0	1	0	0	0	6
小計		18	0	5	5	0	0	28
合計		145	32	70	111	17	215	590

平成24年3月31日現在

平成24年4～7月 被害者支援相談件数報告

活動内容		殺人	傷害	性犯罪	DV	児童虐待	その他	計
活 相 動 談	電話相談	0	8	21	64	2	81	176
	電子メール相談	0	0	1	2	0	1	4
	面接相談	0	0	1	3	0	1	5
小計		0	8	23	69	2	83	185
直 接 支 援	裁判傍聴付添い	0	0	0	2	0	0	2
	他機関付添い	0	0	0	1	0	0	1
	病院付添い	0	0	1	0	0	0	1
	自助グループ支援	1	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	1	0	0	1
小計		1	0	1	4	0	0	6
合計		1	8	24	73	2	83	191

平成24年7月31日現在

【社会全体で被害者を支える街づくり】(佐賀県警察本部委託事業)

事業最終年度の今年も佐賀市営バス(ラッピング)、佐賀県庁公用車(2台)、昭和バス及び祐徳バスに広告を掲載するとともに、下記の事業を含め、県内一円に広報活動を展開し啓発に努めます。

出前講座 被害者の声に耳を傾け、コミュニティでできる被害者支援について、一緒に考えていきたいとの思いで講座を開催しています。講演内容を冊子にしています。

- 第1回 6月22日(金) 武雄市(武雄市文化会館)
- 第2回 7月20日(金) 多久市(多久中央公民館)
- 第3回 7月31日(火) 佐賀市(佐賀市ほほえみ館)
- 第4回 9月19日(水) 白石町(福富ゆうあい館)
- 第5～6回 未定

命の大切さを学ぶ教室 各学校で被害者遺族の方に講演をしていただいています。生徒たちが『命』について考える時間になっています。生徒の感想文は冊子にしています。

- 第1回 6月10日(日) 小城市立三日月中学校
- 第2回 6月17日(日) 唐津市立西唐津中学校
- 第3回 7月5日(木) 唐津市立巖木中学校
- 第4回 7月12日(木) 伊万里商業高校
- 第5～10回 唐津市立北波多中学校、佐賀市立東与賀中学校、
吉野ヶ里町立東脊振中学校、佐賀学園高校、有田工業高校、龍谷高等学校にて開催予定

2012年犯罪被害者支援フォーラム

※詳細は後日ホームページに掲載予定

11月16日(金) 13:30～17:00 アバンセホール

【第1部】 講演「子どもの安全を守る～悲劇を繰り返さないために～」

講師 大阪教育大附属池田小児童殺傷事件遺族 本郷 紀宏さん

【第2部】 シンポジウム「社会全体で被害者を支える街づくり」

佐賀犯罪被害者・交通犯罪被害者遺族の会 自助グループ

「一歩の会」

先月梅雨に入った頃、九州・沖縄犯罪被害者交流会 in 福岡に参加してきました。被害者遺族の話で息子さんの自動車事故とDV・ストーカー殺人事件の体験談の発表があり、二名とも悲痛な思いを語られました。それぞれの発表を聞いて思ったことは、目撃者がいない場合は、被害者遺族は、被害者が命を奪われた時と、裁判で判決理由と判決が出た時、最低二回は悲しまなければなりません。私の場合も同じく目撃者なしで、母が車にはねられて死亡しました。弁護士の先生が言われたんですが、刑事訴訟法では加害者を擁護することが書いてあるが、被害者の事は何一つ書いていません。

ここが問題ですよ。

よく考えてみると、相手には国選弁護士こちらは何もなし。起訴するにあたっては加害者にとって優位な供述で調書を作成される。裁判になればそれをもとに判決理由と判決が出されま

す。刑事訴訟法の中身は、法の下での平等（すべての人が法律上平等に取り扱われなければならないという原則）に矛盾するじゃないでしょうか。

一歩の会活動報告

4月

- 3日 「第1回命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」で
伊万里市 深江香奈さん 警察庁長官官房長賞受賞報告（県警本部）
- 12日 県警警務部長就任のため挨拶

5月

- 12日 一歩の会 定例会
- 25日 VOISS総会

6月

- 10日 「命の大切さを学ぶ教室」講話 三日月中
- 13日 麓刑務所 講話
- 16日、17日 九州・沖縄犯罪被害者連絡会「みどりの風」 参加2名 福岡市

7月

- 7日 一歩の会 定例会



Please open your heart.

『イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン』報告

平成24年4月15日、イオン九州株式会社 イオンスーパーセンター佐賀店にて上半期の贈呈式が行なわれ、24,100円の寄付をいただきました。毎月「イオン・デー」（毎月11日に開催）には、VOISS活動員が1時間～2時間キャンペーンに参加して呼び掛けをしています。皆様のご協力をお願いいたします。

平成24年度佐賀市委託事業について

平成24年度 児童虐待防止専門化講座プログラム

回	日程	演題	講師	会場	対象者
1	7月20日	すべての子どもが生まれてきてよかったと感じる子ども時代を	重永 侑紀さん NPO法人にじいろCAP代表	メートプラザ	民生・児童委員、主任児童委員
2	8月28日	学校にできる児童虐待防止の取り組み～子どもたちの対処能力の向上に向けて～	奥村 賢一さん 福岡県立大学講師	ほほえみ館 きらきら学習ルーム	小学校・中学校 教頭先生
3	9月29日	子育て支援の意義を確認する～子どもの虐待と癒されない傷～	友田 明美さん 福井大学教授	アバンセホール	母子保健推進員、助産師、保健師、保育士、幼稚園教諭、医療関係者
4	11月5日	第1部 家族の養育機能の回復を目指して ～「見守る」から「支える」～(仮) 第2部 トークセッション	西澤 哲さん 山梨県立大学教授	佐賀市文化会館	一般・関係機関

今年度の年間テーマは「守ろう！佐賀の未来 ～子どもの養育を考える～」です。地域での取り組みを今一度見直す時期ではないかと考えています。

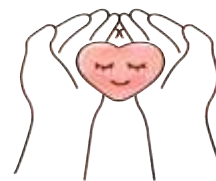


平成24年度VOISS会員ご入会のお礼

(H24. 4. 1～H24. 7. 20 迄に入会の方です)

○【正会員】(順不同)

鳥山久美子、小野勝広、野中由美子、香月博子、廣瀬小百合、菱岡智美、横尾金紹、重富幸子、笠原保子、佐藤武、石橋忠昭、内田貞子、宮元篤紀、鶴橋圭子、鶴橋瑞穂、田口香津子、伊藤紀子、岩尾幸代、志岐洋子、川口愛子、三池功、真崎康子、古賀富美子、古賀幸子、藤林武史、



古川誠、岩田幸恵、庭木朝子、池田正弘、高森佑一、大塚隆秀、酒井英美子、藤野利恵子、境英明、寺脇明範、原田弘道、山崎直文、坂本俊明、木下千嘉子、副島昂樹、立石晃一、島崎敏江、高森正俊、野中忠清、勝屋千晶、吉本由紀子、松永さと子、岩田麻美、入山恵理、他2名

○【賛助団体】(順不同)

医療法人實生会池田産婦人科、Jネットレンタカー、(株)広津商会、めぐみサラダ館、(医)永田天寿堂医院、(社)こもれび会、佐賀トヨペット(株)、藤津製氷(株)

○【賛助会員】(順不同)

浦川信子、川原恵子、古川祐治、松尾洋子、山口一行、藤瀬ちか子、原田俊博、中原正仁、他6名

ご協力ありがとうございました

<VOISS活動報告>

4月

- 5日 全国共通DVホットライン
- 7日 運営会議
- 10日 佐賀県地域福祉振興基金助成金伝達式
- 10日 イオンイエローレシートキャンペーン
- 11日 イオンイエローレシートキャンペーン
- 15日 イオンイエローシート贈呈式
- 16日 支援自販機広報
- 18日 命の大切さを学ぶ教室（西唐津中学校）打ち合わせ
- 19日 全国共通DVホットライン
- 21日 スーパービジョン
- 23～24日 支援自販機広報

5月

- 1日 武雄市出前講座打ち合わせ
- 11日 新規被害者支援要員研修会
イエローレシートキャンペーン
- 12日 運営会議、一步の会
- 15日 DV被害者支援等相談員養成講座
- 16日 出前講座広報（山内町）
命の大切さを学ぶ教室（三日月中学校）打ち合わせ
- 17日 全国共通DVホットライン
- 18日 監査
佐賀市要保護児童対策地域協議会代表者会議
- 19日 スーパービジョン
- 22日 理事会
- 23日 小城市要保護児童対策地域協議会代表者会議
- 23～24日 事務局員研修会（東京）総会
- 25日 第11回通常総会（アバンセ研修室）、交流会
- 28日 VS協議会
- 29日 直接支援
- 31日 多久市出前講座打ち合わせ
全国共通DVホットライン

6月

- 2日 運営会議
- 5日 DV総合対策会議、DV連絡調整会
- 6日 直接支援

- 7日 全国共通DVホットライン
- 8日 命の大切さを学ぶ教室（厳木中学校）打ち合わせ
命の大切さを学ぶ教室（伊万里商業高校）打ち合わせ
育児支援事例検討会
- 10日 命の大切さを学ぶ教室（三日月中学校）
- 11日 イエローレシートキャンペーン、支援自販機広報
- 12日 院内研修 好生館
- 16日 みどりの風、スーパービジョン
- 17日 命の大切さを学ぶ教室（西唐津中学校）
- 20日 直接支援
- 21日 全国共通DVホットライン
- 22日 武雄市出前講座（武雄市文化会館）
社会保険説明会（佐賀市文化会館）
- 25日 佐賀市出前講座打ち合わせ
- 26日 理事会
- 27日 諸富警察署犯罪被害者支援相談支援ネットワーク
- 29日 佐賀市要保護児童対策地域協議会第1回実務者会議
サポーター養成講座開講式（1回）

7月

- 5日 命の大切さを学ぶ教室（厳木中学校）
全国共通DVホットライン
- 7日 運営会議、一步の会
- 11日 イエローレシートキャンペーン
- 12日 命の大切さを学ぶ教室（伊万里商業高校）
- 13日 サポーター養成講座（2回）、育児支援事例検討会
- 18日 DV・児童虐待・性暴力被害者支援連携委員会
- 19日 全国共通DVホットライン
- 20日 多久市出前講座（多久中央公民館）
児童虐待防止専門化講座（メートプラザ佐賀）
- 21日 スーパービジョン
- 21日～22日 九州・沖縄ブロック研修（長崎市）
- 24日 直接支援
- 26日 支援自販機広報
- 27日 サポーター養成講座（3回）
白石町出前講座打ち合わせ
- 31日 佐賀市出前講座（佐賀市ほほえみ館）

第1回
命の大切さを学ぶ教室 全国作文コンクール表彰受賞作品

【警察庁長官官房長賞】

高校生の部

佐賀県立有田工業高等学校

4年

ふかえ かな
深江 香奈さん

「小さな幸せの積み重ね」

今日、古川さんの話を聞いて、まず自分のことと少し照らし合わせて考えていました。この講話で大切なことをたくさん言われたので、私も少し整理がつかないけれど、今なぜか震えるような感覚です。

本当に何もない毎日を、今、私は生きているということが、少し不思議なことのように感じてしまいました。

私がこうしている間に世界のどこかで、「今日この世界からいなくなるとは思わなかった」と、たくさんの後悔を残して亡くなっていく人がいるのだということに気づかされました。

古川さんの「明日があると思っ生きていないようにする。」という言葉をお聞きし、私は自分自身が、今この瞬間をただ生きているだけであることに、はっと気づきました。「明日が絶対にあるということを考えない」という言葉は、古川さんが言われたからこそ、ずっしりと重く、そして、深みのある言葉になるのだと思います。

しかし、そのような考え方をすることで、私自身の日々の重みが違ってくるのだと感じました。

40歳過ぎて娘さんを亡くされて、「やっと命の大切さがしっかりわかった」と言われましたが、私自身は、まだ、命の大切さをきちんと分かっていないのかもしれないかもしれません。でも、毎日を大切に生きるという生き方のヒントを教えてもらうことができました。

それが私の生きていく先々で、命を大切にすることにつながればいいなと思います。そして自分がいつか母親になったときに、今過ごしている日々や時間を大切にしていこうということを、我が子に感じ取ってもらえるようになりたいと思います。

そして、その感覚が、その子から周りの子に伝わり、小さな優しさや人を思う気持ちが全世界に伝染していけば、きっと世界中の人が幸せになれるという気がしました。

最近、私と同年代の高校生や中学生が凶悪な事件をおこしている報道を毎日のように聞きます。そして、その人達の気持ちは理解できないと感じることも数多くあります。

しかし、逆にその犯人は、周囲の人々に対し、同じような感情を狂いそうなほど感じているのかもしれないかもしれません。そして、私を含めた誰もが、犯人と同じ気持ちに陥る可能性は0%ではないと考えなければならないと思います。

偏見を持ち、本当のことを見ようとしもない周囲の人の冷たい心が、このような事件を起こす要因になっているのではないかと思います。

少し話は飛んでしまったけれど、どのようなことでもやはり一番に考えるべきことは小さな思いやりだと思います。そして、その思いやりは、自分の苦い思いをうまく心の中に収納できる強い心があって成り立つのだと思いました。

今私の周囲にいる友達や母親、先生や職場の人に時々腹を立て、喧嘩してしまう時もあるけれど、注意や忠告なども受け入れ、自分のための言葉なんだ！と気づくことができる人になりたいと思

ます。

そして、何よりも私自身を大切にしたいと思います。今しかない時間と今しかない命で、今しかできないことを精一杯やろうと思います。

そして年を重ねて、子どもを産んで孫ができて、「あー！命いっぱい生きた！」と言って、みんなにみとられて、幸せに終わりたい。

そして、またわたしのことを愛してくれるお母さんのところに、生まれたい。

大きな幸せは小さなことを大切にすることの積み重ねで得ることができるのだと思います。

私は、これからも、小さな幸せを大切に生きていきたいと思います。

こんなことを考えるきっかけを与えてくださった古川さんと娘さんに、心から感謝いたします。

支援自販機設置企業等紹介

ご支援ありがとうございます

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1) 佐賀トヨペット (株) | |
| 2) 佐賀女子短期大学 | |
| 3) (有) 大町自動車学校 | |
| 4) (株) 武雄自動車学校 | |
| 5) (有) 虹の松原自動車学校 | |
| 6) 篠原宅 (鳥栖) | |
| 7) 川久保自動車教習所 | |
| 8) 竹中、松尾、中野、唐津土建
特定建設工事共同企業体 | |
| 9) (社) 建設業協会佐賀 | |
| 10) 弘学館中・高校学校 | |
| 11) 東京海上日動ファシリティーズ (株) 九州支店 | |
| 12) 三井住友海上火災保険 (株) 佐賀支店 | 22) 佐賀競馬組合 |
| 13) こが医療館クリニック | 23) 養護老人ホーム松尾山大成園 |
| 14) 兵庫北土地画整理組合 | 24) 大坪石材 (株) |
| 15) 嘉瀬川リバーサイドゴルフ場 | 25) 佐賀県警察本部 1F |
| 16) ゆめタウン佐賀 | 26) 唐津警察署 |
| 17) 石丸自動車 | 27) (株) 唐津自動車学校 |
| 18) (医) 嬉野温泉病院新病棟 3階 | 28) 佐賀整肢学園こども発達医療センター |
| 19) (医) 嬉野温泉病院新病棟 4階 | 29) (株) SUMCO 九州事業所長浜工場 |
| 20) (株) 佐電工 | 30) (株) SUMCO 九州事業所佐賀工場 他 |
| 21) (医) 永田天寿堂医院 | |

計 31 機 (順不同)

〔※前号 第 38 号で (株) 佐電工さまの記載に誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。〕
誤) 佐賀電工 正) (株) 佐電工

電話相談

TEL 0952-33-2110 月～金曜日 午前10時～午後17時
(土・日・祝日、12/28～1/3を除く)

メール相談

E-mail voiss@f3.dion.ne.jp

～ 会 員 募 集 ～

会員になってVOISSの活動を支えてください。また、寄付も随時受け付けています。

【年会費】 正会員 個人 3,000円 団体 10,000円
賛助会員 個人 1口 2,000円 団体 1口 10,000円

【郵便振替口座】 01740-7-8016

【発行】 特定非営利活動法人 被害者支援ネットワーク佐賀 VOISS

代表 藤 林 武 史

〒849-0925 佐賀市八丁畷町1-20

【事務局】 TEL/FAX (0952) 33-2130

E-mail voiss@f3.dion.ne.jpホームページ <http://www.f3.dion.ne.jp/~voiss/>